

空の カーボンニュートラル シンポジウム

～地域と描く **SAF** (持続可能な航空燃料)と
航空脱炭素化の未来図～

vol.4



主催 国土交通省、経済産業省 資源エネルギー庁

会場 飯野ビルディング4階

(東京都千代田区内幸町2丁目1番1号)

イイノホール＆カンファレンスセンター
Room A(定員約200名)

2050年のカーボンニュートラルに向けて、航空分野においても脱炭素化の機運が高まっています。SAF(持続可能な航空燃料)は航空脱炭素化に向けた切り札とも言われ、その利用拡大は日本の産業全体にとっても重要な課題です。

今年度は、特にSAFとみなさまを結ぶ接点となる「地域」における取組や、企業の経済活動において今後さらに重要性の高まる「環境価値」などに着目し、SAFの更なる認知拡大と利用促進に向けて、様々な業界の意見を交えて議論を行い、今後の航空脱炭素化の推進に繋げていくための方策を考えます。

令和8年

2/24(火)

13:00~17:00

参加無料

ハイブリッド
開催

ライブ配信
あり

プログラム

■ 基調講演

「日本におけるSAFバリューチェーン構築の意義
～環境価値と地産地消による価値を探る～」
株式会社みずほ銀行 シニアアナリスト 豊川 晃範 氏

■ 【議題1】国産SAFの実用化及びSAFの地産地消に向けた取組

(1)「国産SAF実用化への課題と今後の展望」
コスモ石油マーケティング株式会社
(2)「国産SAFの普及に向けた供給体制の構築
～国産SAFの効率的な供給の実現に向けた実証～」
ENEOS株式会社

■ 【議題2】SAFの利用促進に向けた地域連携の取組

(1)「SAFの利用促進と認知拡大に向けた東京都の取組」
東京都
(2)「自治体と連携した国産SAFサプライチェーン構築の取組」
中部国際空港株式会社
(3)「廃食用油の回収及びSAFの普及に関する取組」
吹田市

■ 【議題3】SAFの環境価値の活用に向けた取組

- (1)「Scope3削減と企業価値：
航空輸送の『環境価値』を活かすカーボンインセッティングの重要性」
株式会社NTTデータ
(2)「SAFを活用したScope3削減の取組について」
NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社

■ パネルディスカッション

「SAFの将来ビジョンと地域連携について」
コーディネーター 山内 弘隆氏 武蔵野大学 経営学部 特任教授
一橋大学 名誉教授

パネリスト 日本航空株式会社／日揮ホールディングス株式会社／
吹田市／小田急電鉄株式会社／株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シー

お申込み方法 QRコードまたはURLの事務局ホームページから
参加申込をお願いします。

<https://k3rws.stage.ac/carbon-neutral/vol4/> 要事前登録



お問い合わせ

「空のカーボンニュートラル」シンポジウム事務局(株式会社ステージ内)

TEL:03-6823-6615(平日 10:00~18:00) E-Mail:carbon-neutral@stage.ac

*本シンポジウムの事務局業務は株式会社ステージに委託して運営しています。